

モバイル専門委員会

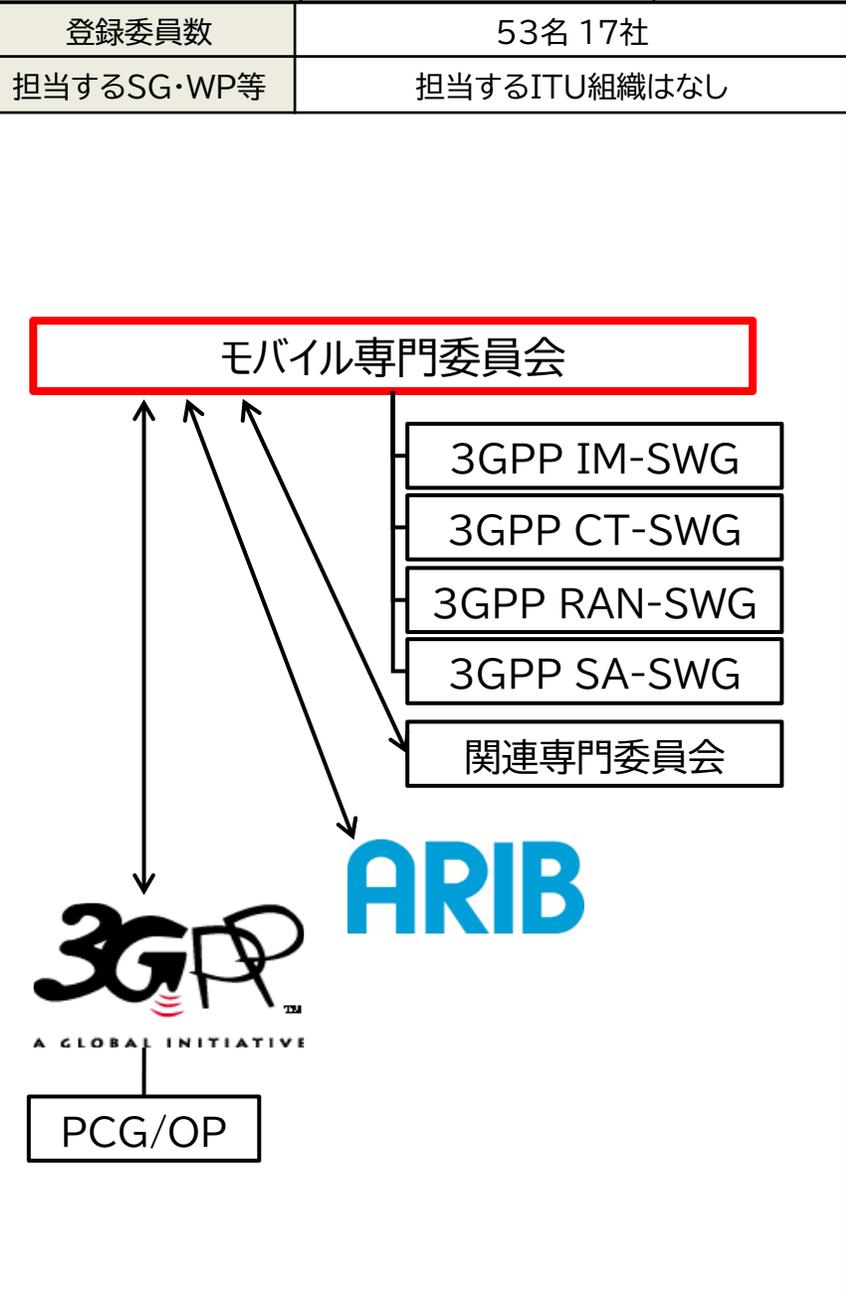
中期標準化戦略(概要と目的)

専門委員会・AG名

モバイル専門委員会

1/3

企画戦略委員	畑中 芳隆(NTTドコモ)、武田 洋樹 (KDDI)
委員長・副委員長	委員長 横田 大輔(ソフトバンク)、副委員長 傳賢 浩史(NEC)
活動の目的・意義 ・めざすゴール	<ul style="list-style-type: none"> 移動通信全般に係わる課題において、3GPP本体を含めた国際標準化組織との連携・寄与、TTC内の他委員会、ARIBを含めた移動体関連組織、業際的な関連組織(3GPP MRP*等)との協調・連携に取り組む。 3GPPが策定した技術仕様書は、世界の7つのOPが国内(地域)標準として制定して正式な標準としての効力を持つ。したがって、本専門委員会が、国内標準のTTC仕様書とするためのダウンストリーム作業を行い、3GPPの組織的パートナーとしての役割を遂行する。これにより、ITU-T参照標準に向けた土台を整える。 3GPPの主にアーキテクチャ、コアネットワークに関するワークアイテム・スタディアアイテムと、技術仕様策定グループ(TSG)会合の状況を共有し、メンバー企業の標準化戦略策定、及びサービス/製品開発に国際標準を活用できるようにする。 3GPP日本会合のための負担金を決定し、運営を管理する(3GPP IM-SWGに委任)。 3GPP組織運営のためのプロジェクト予算に関する決定を行う。 3~5年後のゴールとして、6Gのコアネットワークに関する標準化動向を発信する中心的な役割を担う。 <p>*3GPP MRP:Market Representation Partners, 3GPPのパートナーとして登録された業界関連組織</p>
活動する上での課題 (人材面や運用面での課題を含む)	<ul style="list-style-type: none"> 移動通信の利用を検討する関連業界団体との連携の要否や方法 移動通信を利用するTTC内専門委員会との連携の在り方 3GPPにおける6G仕様検討開始を受けて、3GPP専門委員会として動向を注視開始
関連のSDGsゴール	
標準化方針	<ul style="list-style-type: none"> 3GPP PCG/OPの運営をサポートすると共に運営課題に対して必要に応じて関連専門委員会、ARIBと連携しSDOとして対応する。また、5Gや5G Advanced、6Gの技術仕様策定状況を適宜TTC内関連専門委員会に共有を図っていく。 3GPP-TSGを中心とした移動通信の国際標準化活動に関する情報共有と意見交換及び関連技術を議論する。 3GPPで承認された仕様を、TTC仕様書として制定する。(ダウンストリーム活動) 年4回(6,9,12,3月)の専門委員会会合の開催、及び年4回(6,9,12,3月)の3GPP仕様書ダウンストリームを予定。 国内では、5G商用サービスが開始されており、5Gの特長である異業種との連携も含めた5Gサービスの普及を促進する。 他国内標準化組織との連携による移動通信標準化作業を促進する。具体的には、ARIB、CIAJなどとの連携やTTC内関連専門委員会との連携を図りつつ活動する。 海外の関連標準化組織(ITU-T/R, IEEE, IETF, BBF, GSMA等)との連携に配慮する。
国内外の標準化団体等の動向	<p>3GPP</p> <ul style="list-style-type: none"> 5G Advancedの機能拡張を中心としたRel-19仕様策定が完了。(2025年9月) 6Gのユースケースやサービス要件、アーキテクチャ、セキュリティ、チャージングなどに関するRel-20スタディアアイテムが承認され、それぞれのワーキンググループにおいて検討が進行中。(2024年5月~現在)



<p>新テーマ及び重点取り組み・活動成果・課題解決に向けた取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> • TTC内の移動通信網マネジメント専門委員会と3GPP専門委員会、Network Vision専門委員会、コネクテッド・カー専門委員会、AI活用専門委員会、国内SDOのARIB、海外SDOのATIS、CCSA、ETSI、TSDSI、TTA、国際標準化団体の3GPP、及び特に移動通信の利用を検討する関連業界団体の間に立ち、標準化を円滑に進めるに当たって必要となる組織間調整やマネジメント会合への参加を始めとしたアクションの実施 • 3GPP Working Procedureの改訂などを中心とした3GPP PCG/OP会合対処方針の検討、TTC/ARIB間の意見集約と3GPPへの提言 • 2026年3月の3GPP TSG日本会合開催に向けたホストとしての準備対応
---------------------------------------	--

<p>関連する専門委員会または外部組織とその内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 移動通信網マネジメント専門委員会と3GPP専門委員会の間で密に連携し、5G標準化の最新動向に関するTTCセミナーの企画検討
------------------------------	---

主な活動項目	概況指標	2025年度目標(当初計画時)	2025年度実施状況	記事
<p>① アップストリーム 他団体との連携</p>	<p>寄書数</p>	<p>0件</p>	<p>0件</p>	
	<p>外部会合への参加・連携状況</p>	<p>・3GPP: TSG Plenary (4回), PCG/OP会合(2回)</p>	<p>・3GPP: TSG Plenary (4回; 6月、9月、12月、3月) PCG/OP会合(2回; 4月、10月)</p>	
<p>② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート</p>	<p>JJ標準</p>	<p>0件</p>		
	<p>TS/TR/SR</p>	<p>0件/0件/0件</p>	<p>0件/0件/0件</p>	
<p>③ ダウンストリーム</p>	<p>数</p>	<p>TS/TR 4回(四半期毎) ITU-R勧告の改定に際し制定情報をITU-Rへ提供 M.2012-7: M.2150-3:</p>	<p>TS制定: 464件(第4四半期を除く) TR制定: 6件 ITU-R勧告の改定に際し制定情報をITU-Rへ提供 M.2012-7:221、M.2150-3 RIT:100, SRIT:200</p>	
<p>④ プロモーション 普及推進</p>	<p>セミナー</p>	<p>策定が完了したRel-18仕様や、Rel-19仕様及び6G仕様の展望に関する勉強会またはTTCセミナーの開催を検討する。</p>	<p>3GPP Rel-18仕様を中心とした「TTCセミナー 3GPP 5G Advanced標準化と応用研究が拓くモバイル通信の未来」と題したセミナーを企画開催、298人を集客し好評を得た。</p>	
	<p>記事投稿、講演会</p>	<p>TTCレポート活動報告、積極的に関連業界誌等への寄稿を検討</p>	<p>無し</p>	

<p>新テーマ及び重点取り組み・想定される課題と課題解決に向けた取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> • TTC内のNetwork Vision専門委員会、コネクテッド・カー専門委員会、国内SDOのARIB、海外SDOのATIS、CCSA、ETSI、TSDSI、TTA、国際標準化団体の3GPP、及び特に移動通信の利用を検討する関連業界団体の間に立ち、標準化を円滑に進めるに当たって必要となる組織間調整やマネジメント会合への参加などのアクションの実施 • 3GPP Working Procedureの改訂などを中心とした3GPP PCG/OP会合対処方針の検討、TTC/ARIB間の意見集約と3GPPへの提言 • 3GPP TSG会合(3, 6, 9, 12月)を受けて、モバイル専門委員会会合を開催し、TSGでの主要課題等の動向を共有しつつ、技術議論する。 • 年4回、ダウンストリーム活動を実施する。3GPPで承認された仕様書をTTC仕様書として制定、モバイル専門委員会会合で承認する。 • 若手人材育成のために、6G動向に関する勉強会やセミナー等を企画し実行していく。 			
<p>新テーマ</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 6Gのユースケースやサービス要件、アーキテクチャ要件、プロトコル要件など、6G標準化に関わる動向把握とセミナー等を通じた発信 			
<p>関連する専門委員会または外部組織とその内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> • Network Vision専門委員会やコネクテッド・カー専門委員会などと連携し、適宜移動体通信系の標準化動向に関する情報提供、意見交換や合同セミナーなどの協調イベントの実施を検討 • 6G技術仕様策定の最新動向に関するTTCセミナーの開催、関連業界誌への寄稿、イベントでの講演等を検討 			
<p>主な活動項目</p>	<p>概況指標</p>	<p>2026年度目標(当初計画時)</p>	<p>2026年度実施状況</p>	<p>記事</p>
<p>① アップストリーム 他団体との連携</p>	<p>寄書数</p>	<p>0件</p>		
	<p>外部会合への参加・連携状況</p>	<p>・3GPP: TSG Plenary (4回), PCG/OP会合(2回)</p>		
<p>② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート</p>	<p>JJ標準</p>	<p>0件</p>		
	<p>TS/TR/SR</p>	<p>0件/0件/0件</p>		
<p>③ ダウンストリーム</p>	<p>数</p>	<p>TS/TR 4回(四半期毎)</p>		
<p>④ プロモーション 普及推進</p>	<p>セミナー</p>	<p>策定が完了したRel-19仕様や、6G仕様の展望に関する勉強会またはTTCセミナーの開催を検討する。</p>		
	<p>記事投稿、講演会</p>	<p>TTCLレポート活動報告、積極的に関連業界誌等への寄稿を検討</p>		